

Press Release

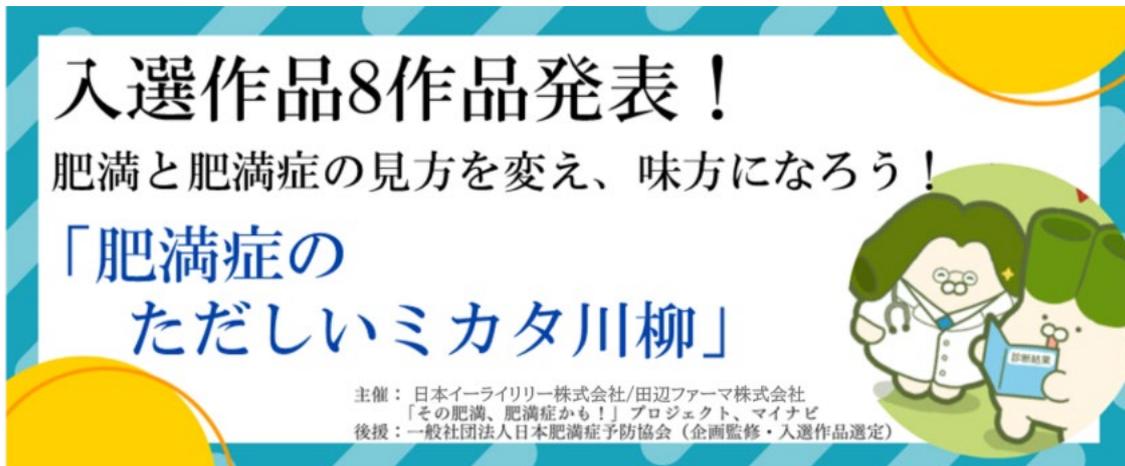
2026年3月3日
日本イーライリリー株式会社
田辺ファーマ株式会社

【3月4日は世界肥満デー】

肥満と肥満症の見方を変え、味方になろう！ 「肥満症のただしいミカタ川柳」結果発表 最優秀賞と優秀賞の3作品はSNSで人気の「ネギうさぎ」とコラボ！ ～肥満症疾患啓発：「その肥満、肥満症かも！」プロジェクト～

日本イーライリリー株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長:シモーネ・トムセン、以下、日本イーライリリー)と田辺ファーマ株式会社(本社:大阪市中央区、代表取締役 CEO:原田明久、以下、田辺ファーマ)は、“肥満と肥満症の見方を変え、味方になろう！”を合言葉に株式会社マイナビとのコラボレーションで昨年募集を開始した「肥満症のただしいミカタ川柳」について、見事入選した8作品を発表します。

なお、3月4日の世界肥満デーを前に発表するこの企画は、両社が肥満症の理解促進を目的に取り組む「その肥満、肥満症かも！」プロジェクトの一環です。



このたび、全国から寄せられた数多くの応募作品の中から、6名の審査員による厳正な審査の結果、肥満症への理解を深め、味方を変える力を持つ8作品(最優秀賞1作品、優秀賞2作品、特別賞5作品)が選出されました。最優秀賞と優秀賞の計3作品については、SNS総フォロワー数148万人のクリエイター「うめぼしちゃん」が描く人気キャラクター「ネギうさぎ」とのコラボレーションが実現しました。受賞した川柳の世界観をやさしく彩る描き下ろしイラストを本日公開(後述)し、今後広く広告展開していく予定です。

<肥満と肥満症の見方を変え、味方になろう！「肥満症のただしいミカタ川柳」結果>

最優秀賞(1作品):

・肥満症 ミカタ次第で 光差す / 増田正二 さん

優秀賞(2作品):

- ・見方変え 味方と治す 肥満症 / たけのこキノコ さん
- ・その肥満 「症」がいたら 要治療 / もりこ さん

特別賞(5作品):

- ・肥満症 知って広がる 理解の輪 / Kazu さん
- ・「治したい」 痩せたいよりも 重みある / あおによしお さん
- ・脱肥満 コツは恥じずに まず相談 / 紫月 さん
- ・肥満症 「病」と知って 救われる / 風じん さん
- ・「痩せよう」が 「治そう」になる 診察日 / 増田正二 さん

本企画の審査委員長を務める一般社団法人日本肥満症予防協会 理事長の宮崎 滋 氏は、次のように述べています。「『肥満症』は、BMI25 以上の状態をさす『肥満』と異なり、肥満かつ肥満に関する健康障害を1つ以上合併する、または内臓脂肪型肥満のある状態です。肥満症は、様々な病気を引き起こしたり、悪化させたりするリスクのある、治療が必要な病気です。遺伝や環境、ストレスなど様々な要因が関与するにもかかわらず、生活習慣ばかりが目され、「自己管理だけの問題」と軽視されがちです。本企画を通して、当事者を含む社会の肥満症に対する理解の輪が広がり、肥満症のある方々が必要な治療にたどりつける環境の構築へとつながることを願っています。」

日本イーライリリーと田辺ファーマは、病気としての社会的認知が低い肥満症の正しい理解を促進するため、「その肥満、肥満症かも！」プロジェクトを立ち上げました。「肥満症のただしいミカタ川柳」はその一環として、肥満についてあらためて考え、肥満症という病気の存在に気づき、正しく理解してもらうきっかけとなるよう企画しました。両社は今後も引き続き、肥満症のある人が生き生きと活躍できる社会の創造に貢献できることをめざし、啓発活動を続けてまいります。

以上

<肥満と肥満症の見方を変え、味方になろう！「肥満症のただしいミカタ川柳」結果 概要>

結果発表詳細	2026年3月3日(火)以降、株式会社マイナビのWEBサイト内でご確認可能： https://news.mynavi.jp/kikaku/20260303-3853782/
募集テーマ	自身または周りの方の肥満または肥満症について日常で感じていること、体験したことやエピソードを「川柳」にして表現する
審査員	審査委員長 宮崎 滋 先生 一般社団法人日本肥満症予防協会 理事長／ 公益財団法人結核予防会 総合健診推進センター 所長 その他5名(一般社団法人日本肥満症予防協会 理事)
募集期間	2025年11月6日～11月20日
募集内容詳細	株式会社マイナビのWEBサイト内 応募記事をご覧ください https://news.mynavi.jp/kikaku/20251106-3388574/

最優秀賞・優秀賞作品のコラボイラスト制作者：「うめぼしちゃん」と人気キャラクター「ネギうさぎ」について

人気クリエイター「うめぼしちゃん」は、2020年7月からSNSで投稿を開始し、わずか4ヶ月でフォロワー数100万人を突破。ネギとうさぎが合体した、見た目も名前もインパクト抜群のキャラクター「ネギうさぎ」は、ネギうさぎの里で家族と暮らし、プリンが大好物というちょっと不思議な設定。白いうさぎの体にネギの要素を取り入れたデザインは、シンプルなのにクセになるかわいさ。SNSでは「癒される！」と話題になり、[TikTok](#) や [Instagram](#) でもフォロワー急増中。



※コラボレーションイラストおよび受賞作品の詳細は次ページよりご確認ください。

● 最優秀賞作品：肥満症 ミカタ次第で 光差す / 増田正二 さん



肥満症

ミカタ次第で

光差す



医師解説コメント

肥満症は治療が必要な病気です。見方を変え、専門家を味方につけることで、改善への道に光が差します。

作者コメント

肥満症は単に自己管理の問題ではなく、治療が必要な病気。そう見方を変えることで心がふっと軽くなる。またそう診断してくれたお医者さんが味方となってくれることで心強くも感じる。「ミカタ」に2つの意味を込めて詠んだ句です。

増田正二さん

<p>【作者コメント】 肥満症は単に自己管理の問題ではなく、治療が必要な病気。そう見方を変えることで心がふっと軽くなる。またそう診断してくれたお医者さんが味方となってくれることで心強くも感じる。「ミカタ」に2つの意味を込めて詠んだ句です。</p>
<p>【医師解説コメント】 肥満症は治療が必要な病気です。見方を変え、専門家を味方につけることで、改善への道に光が差します。</p>
<p>【審査員コメント】 「見方」と「味方」という二つの「ミカタ」を巧みに重ねた表現が印象的です。ミカタが変われば「光差す」という比喻も、美しい未来への広がりをやさしく感じさせる前向きな一句です。</p>



「最優秀作品」肥満症 ミカタ次第で 光差す

● 優秀賞作品：見方変え 味方と治す 肥満症 / たけのこキノコ さん

優秀賞

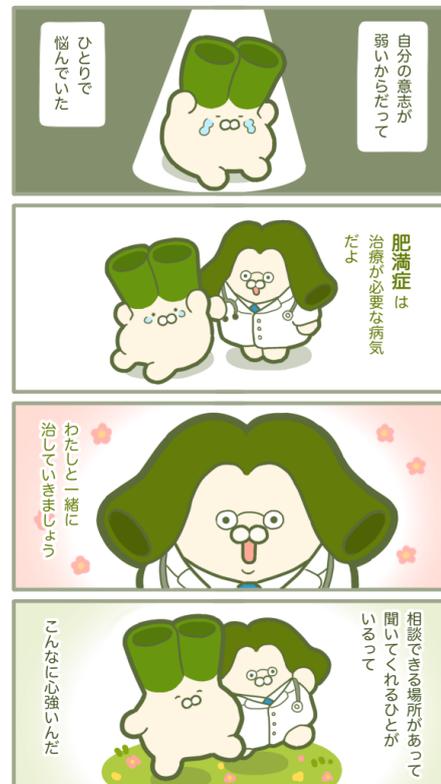
**見方変え
味方と治す
肥満症**

たけのこキノコ さん

作者コメント
「だらしなさ」ではなく「治療が必要な病気」へと世間の見方が変わってほしい。そして一人で抱え込まず、医師という心強い味方と共に歩んでいきたい、という願いを込めました。

医師解説コメント
肥満症は治療が必要な病気です。減量できないのは意志の弱さの表れではありません。見方を変え、医師を味方にしてください。

<p>【作者コメント】 「だらしなさ」ではなく「治療が必要な病気」へと世間の見方が変わってほしい。そして一人で抱え込まず、医師という心強い味方と共に歩んでいきたい、という願いを込めました。</p>
<p>【医師解説コメント】 肥満症は治療が必要な病気です。減量できないのは意志の弱さの表れではありません。見方を変え、医師を味方にしてください。</p>
<p>【審査員コメント】 「見方」と「味方」をかけることで、正しい肥満症の理解と周囲からの支えの大切さを品よく描いています。短い中に温かさがにじむ一句です。</p>



【優秀作品】見方変え 味方と治す 肥満症

● 優秀賞作品：その肥満「症」がいたら 要治療 / もりこさん



<p>【作者コメント】 太いだけなら自由だけど、肥満症となると、早めに受診が必要です</p>
<p>【医師解説コメント】 単に太っているというだけでなく、健康障害を伴えば、治療が必要となる「肥満症」です。早めの受診を。 ※肥満症診療ガイドライン 2022 を参考に作成</p>
<p>【審査員コメント】 肥満症の定義を簡潔に示した一句で、肥満との違いを初学者にも伝えやすい表現です。「肥満症」に関する啓発活動においてのスライドやパンフレットにもそのまま活かせるわかりやすい作品です。</p>



「優秀作品」その肥満「症」がいたら 要治療

● 特別賞

・肥満症 知って広がる 理解の輪 / Kazu さん

【作者コメント】今回のイベント(その肥満、肥満症かも?「肥満症のたっししいミカタ川柳」)のように、肥満症について知ってもらふ機会が増えることによって、先入観や偏見などがなくなり理解の輪が広がるのを、イメージしました。

【審査員のコメント】知ることが「理解の輪」を広げるという発想がいいです。語呂の良さもあります。

・「治したい」 痩せたいよりも 重みある / あおによしおさん

【作者コメント】痩せたいよりも、肥満症を『治したい』という思いの方が、肥満症の方には強いのではないかと思ったので川柳にしました。

【審査員のコメント】「痩せたい」から「治したい」への意識の変化を通して、肥満と肥満症の違いを端的に捉えた一句です。

・脱肥満 コツは恥じずに まず相談 / 紫月さん

【作者コメント】自分の努力不足だと怒られそうで医療機関に相談するのもはばかられますが、健康のために恥ずかしさを捨てて1歩踏み出してほしいと思い書きました。

【審査員のコメント】「恥じずにまず相談」という一節が、受診の心理的ハードルをほどよく和らげています。軽やかなリズムも心地よく、医療者からのメッセージとしても自然に活用できる一句です。

・肥満症「病」と知って 救われる / 風じんさん

【作者コメント】肥満症は、自己責任ではなく病気として理解することで、安心して肥満症と向き合える。

【審査員のコメント】「病」と知って救われる」という逆説的な一節が、正しい知識と診断が安心へとつながる現実を静かに映し出しています。自己責任からふっと解放される瞬間を丁寧に捉えた、共感を呼ぶ一句です。

・「痩せよう」が「治そう」になる 診察日 / 増田正二さん

【作者コメント】ただの肥満なら痩せようで構わないが、肥満症は治療が必要な病気。「痩せよう」から「治そう」になることで精神的な負担が軽くなり、自分の体と向き合うことができる。「個人の目標」から「治すべき病気」へと認識がかわることで前向きな気持ちになれる、ということを詠んだ句です。

【審査員のコメント】「痩せよう」から「治そう」へと、診察日をきっかけに意識が転じていく流れが鮮やかです。短い言葉に内面的な変化が端的に映し出された一句です。

【「その肥満、肥満症かも!」プロジェクトとは】

日本における「肥満」に該当する人口は 2,800 万人¹と推定されています。

日本では、「肥満」は脂肪組織に脂肪が過剰に蓄積した状態で、体格指数(BMI)25 以上と定義されています。一方で「肥満症」は、肥満(BMI25 以上)があり、かつ肥満に起因ないし関連する健康障害(合併症)を 1 つ以上有するか、あるいは内臓脂肪蓄積がある場合など関連健康障害の合併が予測され、医学的に減量を必要とする病態と定義されており、減量による医学的治療の対象になる慢性疾患です²。

肥満症は、他の病気を引き起こしたり悪化させたりするリスクがあります。しかし肥満症の診断や治療は、これまで治療選択肢が限られていたこともあり、他の慢性疾患と同等には行われてきませんでした。

肥満症の発症には、個人の生活習慣のみならず、遺伝やストレス、仕事・生活環境など、さまざまな要因が複合的に関与するため、自分の努力だけでは解決が難しいと言われていました³。それにもかかわらず、本人の努力や生活習慣のみがフォーカスされがちで、「自己管理の問題」という誤解や偏見(オベシティ・スティグマ)が

その肥満、 肥満症かも!

先入観からの解放プロジェクト

存在し、社会課題となっています。

こうした中、日本イーライリリーと田辺ファーマは、肥満症の正しい理解を促進するため、「その肥満、肥満症かも！」プロジェクトを立ち上げました。本プロジェクトでは、肥満症のある人やその周囲の人の肥満症に関する正しい理解を促し、肥満症に対する思い込みや偏見など、様々な先入観を無くしていくことで、誰もが生き生きと活躍できる健康的な社会の創造に貢献することを目指しています。両社は今後も、さまざまな疾患啓発活動を通して、肥満症の正しい理解を促進していきます。

肥満症に関するより詳しい情報は、肥満症当事者向けの疾患啓発 WEB サイト「その肥満、肥満症かも.com」をご覧ください。<https://www.obesity-disease.jp/>

肥満症の疾患啓発活動について

日本イーライリリーと田辺ファーマは、肥満症に対する理解促進を目的とした疾患啓発活動を行っています。本活動は、肥満症のある人やその周囲の人々を含めた社会の、肥満症に対する正しい理解の輪を広げることで、肥満症のある人が生き生きと活躍できる健康的な社会の創造を目指す取り組みです。特定の医薬品の販売促進や処方推奨を目的とするものではありません。

肥満症治療について

肥満症治療の目的は、減量ではなく、減量により肥満に関連する健康障害を改善することです。肥満症治療は、肥満症と診断された方を対象としたもので、合併症の予防や改善を目的とする医療です。美容・痩身のためのダイエットなどを目的として行われるものではありません。肥満症治療薬等については、医師による診断のもと、電子添文の内容を遵守の上、適正な使用をいただくようご協力をお願いしています。肥満症の診断・治療方針については、必ず医師にご相談いただけますようお願い申し上げます。

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。日本の患者さんが健康で豊かな生活を送れるよう、日本で 50 年にわたり最先端の科学に思いやりを融合させ、世界水準の革新的な医薬品を開発し提供してきました。現在、がん、糖尿病、アルツハイマー病などの中枢神経系疾患や自己免疫疾患など、幅広い領域で日本の医療に貢献しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。

<https://www.lilly.com/jp>

田辺ファーマについて

田辺ファーマは、1678 年に創業、日本の医薬品産業発祥の地である大阪の道修町に本社を置き、医療用医薬品事業を中心とする製薬企業として、最も歴史ある老舗企業の一つです。当社は、「病と向き合うすべての人に、希望ある選択肢を。」を MISSION とし、これを実現するため、中枢神経、免疫炎症、糖尿病・腎領域に加え、がん領域にも取り組んでいきます。有効性・安全性が高い患者層を見出し、治療満足度の高い薬剤をお届けする「プレジジョンメディシン」の他、予防・未病、重症化予防、予後にも目を向け、治療薬を起点に患者さんの困りごとに応える「アラウンドピルソリューション」を展開していきます。<https://www.tanabe-pharma.com/ja/>

【本件に関するお問い合わせ先】

日本イーライリリー株式会社 コーポレート・アフェアーズ本部
TEL: 0120-925-500 Email: okawa_mizuki@lilly.com

田辺ファーマ株式会社 CEO オフィス PR グループ TEL: 06-6205-5119

(このプレスリリースは、重工業研究会、本町記者会、厚生労働記者会、厚生日比谷クラブ、道修町薬業記者クラブ、大阪化学工業記者クラブ、神戸経済記者クラブへ配付しております)

¹: 厚生労働省 国民健康・栄養調査(令和元年) <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000687163.pdf> (2025 年 9 月閲覧) の「肥満者の割合」と 2019 年人口推計より算出した推計値

²: 日本肥満学会「肥満症診療ガイドライン 2022」, p.1-2

³: Schwartz MW, Seeley RJ, Zeltser LM, et al. Obesity Pathogenesis: an Endocrine Society Scientific Statement. Endocr Rev. 2017;38(4):267-296.